



かとう みえこ  
加藤 美江子

こうめいとうぎいんだん  
公明党議員団

### 「社会的事業所」の支援について

**問** 社会的事業所は、作業能力はあるものの、対人関係、健康管理等の理由により、一般企業に就労できずにいる障がい者の方を雇用し、生活指導、健康管理等に配慮した環境のもとで、障がいのある人もない人も「対等な立場」で「共に働ける」新しい職場形態の構築を目指して立ち上がった事業所であり、市としての支援を強く求めるが、支援をしていく準備はあるか。

**答** 社会的事業所は、一般就労が可能な方と障がいのある方が対等な立場で共に働けるという新しい職場の形態であると認識している。

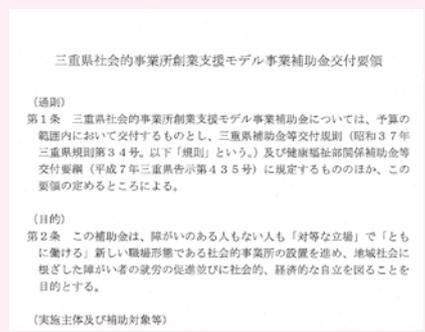
現在、社会的事業所の新規参入について、担当部署で相談を受けており、実現に向けて協議を行っているという状況である。

また、現在は津市内に社会的事業所はないが、実際にそのようなところが出てくれば、障がい者就労施設等からの物品等の調達方針についても、それを踏まえて対応していきたい。



### ●その他の質疑・質問●

- 地域包括ケアシステムの構築
  - ・介護予防の推進策は
  - ・認知症高齢者対策は
  - ・地域包括ケアネットワークの充実から、医療にかかるネットワークの充実は
- 障がい者の方への支援
  - ・障がい者就労施設等への優先調達のさらなる取り組みは
- 産後ケアの支援体制の構築について など



▲津市でも社会的事業所に対し積極的に支援を行うべき



たなか ひろし  
田中 勝博

いっしんかい  
一津会

### 子ども・子育て支援の量的拡充と質の改善

**問** 新制度における量的拡充と質の改善に関し、津市の保育ニーズをどのように把握し、体制を確保していくのか。また、保育士の確保策も含め、保育者の給与改善や研修の充実など処遇改善を図る項目もあると思うが、消費税増税の先送り等もあり、本当に実施できるのか。

今後、福祉や教育等多くの所管で実施している事業をどのように調整していくのか。

**答** 保育ニーズについては、平成25年11月に実施した子ども・子育て支援に関するアンケート調査の結果等から推計しており、不足する量は、既存施設を最大限に活用した定員の拡充を図ることを第一に取り組んでいく。

また、質の改善については、財源としていた消費税増税を平成29年4月まで延期する方針が表明されたものの、国は財源確保に最大限努力するとの考えも示していることから、今後の動向を注視したいと考えている。

事業の調整については、それぞれの所管が互いの事業を意識せず別々に取り組んでいる現状もあることから、子ども・子育て支援全体を見て、そして、全体の総合力を高めていくための仕組みを早期につくっていく必要があると考えている。

### ●その他の質疑・質問●

- 三重短大の将来を見据えた計画としての魅力の発信は
- 消防力の整備と適正配置
- 市長の施政方針についての総括と検証
  - ・防災、減災対策
  - ・少子化対策
  - ・救急医療体制
- 前業市長に問う
  - ・4年間の成果は
  - ・津市の将来ビジョンは など



▲就職先や大学への編入実績など三重短大の魅力の発信を